

第57回

取材してきました！

民生委員・児童委員大会を開催しました！



令和7年2月5日(水)、なかのZERO小ホールで第57回民生委員・児童委員大会を開催しました。この大会は日頃の活動をより多くの方に知ってもらうために、民生児童委員と関わりのある方をお招きして、3年に1度開催しています。

今大会も民生児童委員をはじめ、地域の方や行政関係者等、300名以上の方々にお越しいただき、私たちの活動を紹介することができました。今号では大会の報告を中心にお届けします。

第1部



式典

はじめに主催者である大浦中野区民生児童委員協議会会長より挨拶をいたしました。

▼大浦中野区民生児童委員協議会会長



▶ 酒井中野区長



ご来賓からは酒井中野区長、酒井中野区議会議長、小林東京都民生児童委員連合会副会長よりご挨拶をいただきました。

▶ 酒井中野区議会議長



◀ 小林都民連副会長



弥生地区・石田会長が信条朗読を、鍋横地区・吉原会長が大会宣言を行いました。

▼弥生地区・石田会長



▼鍋横地区・吉原会長



第2部



記念講演

講師

IT エバンジェリスト 若宮 正子氏

テーマ

デジタルの助けも借りて「人生100年時代を有意義に楽しく」



ITエバンジェリストの若宮正子氏を講師に迎え、ご講演をいただきました。シニア世代がデジタル機器の活用に一歩踏み出すためのきっかけとなるようなお話をお聞きすることができました。

お召しになっている
シャツの柄模様は、
ご自身でエクセルを
使ってデザインされ
たんですって！



若宮 正子氏【プロフィール】

1935年東京都生まれ。58歳でパソコンの面白さに目覚め、独学で習得。

81歳でスマートフォン向けのアプリ「hinadan (ヒナダン)」を開発。「世界最高齢のプログラマー」として注目を集める。

現在、一般社団法人メロウ倶楽部理事のほか、国のデジタル分野の機関の構成員を複数務める。

第3部



研修報告

▼東部地区の発表の様子



▼野方地区の発表の様子



東部地区が「HUG訓練を通じて災害時の民生児童委員の役割を考える～避難所(H)運営(U)ゲーム(G)～」というテーマで、野方地区が「Google Chrome端末導入研修」というテーマで研修報告を行いました。

福祉
の
なかま

No.15 中野区社会福祉協議会(あんしん生活支援課)

中川 有理香さん(東中野地域担当)



今年度4月より東中野地域を担当している中川と申します。入職1年目でまだまだ不慣れな点もございますが、地域の皆さまに暖かく見守っていただきながら、日々楽しく活動しております。

昨年度は昭和・東中野地域にてフードパントリーも実施し、地域の中での支えあい・つながる輪がより広がったのではないかと思います。今後も地域の皆さまが楽しく、安心してすごせる町づくりを、民生児童委員の皆さんとともに進めていきたいと思っています。

編集:中野区民生児童委員協議会広報委員会

委員長:田中恵子/副委員長:堀越みゆき/酒井得子/寺崎益枝/小島修一/間瀬敬子/濱田勝江

発行:中野区地域支えあい推進部地域活動推進課民生児童委員担当 電話:03-3228-5582